

教育委員会

教育行財政	- 1
学校教育	- 3
社会教育・文化財	- 10
博物館	- 12
図書館	- 17
市民スポーツ	- 21
人権教育	- 23
教育・視聴覚センター	- 25

教育行財政

教育委員会開催状況

(平成25年)

会 議	議 案 件 数
15回	33件

審議状況

(平成25年)

	条 例	規 則	規 程	要 綱
制 定	1 件	1 件	1 件	1 件
廃 止		1		
改正(全部)				
“(一部)”	8	6	1	

市内の教育機関

(平成25年5月1日現在)

校 種	市 立		県 立		私 立		合 計	
	校数	生徒数	校数	生徒数	校数	生徒数	校数	生徒数
四年生大学	校	人	校	人	2校	1,329人	2校	1,329
高校全日制			9	7,681	4	2,566	13	10,247
定 時 制			2	722			2	722
通 信 制			1	1,110	1	671	2	1,781
中 学 校	22	8,822			3	690	25	9,512
小 学 校	39	17,299			1	428	40	17,727

市内児童・生徒数の推移(公立)

(平成25年5月1日現在)

年度	小 学 校		中 学 校	
	計		計	
平成14		17,559		8,632
15		17,439		8,406
16		17,562		8,266
17		18,432		8,470
18		18,396		8,610
19		18,363		8,565
20		18,469		8,613
21		18,496		8,501
22		18,136		8,659
23		17,795		8,811
24		17,523		8,886
25		17,299		8,822

教育費

(単位：千円)

費目	平成23年度	平成24年度	平成25年度
教育費 (A)	8,665,713	8,846,326	9,018,606
教育総務費	2,438,380	2,539,574	2,182,164
小学校費	2,608,992	2,523,008	2,558,472
中学校費	1,154,309	1,253,723	1,557,701
幼稚園費	827,646	809,068	771,304
社会教育費	1,044,994	1,147,239	1,278,573
保健体育費	591,392	573,714	670,392
一般会計歳出額 (B)	103,351,966	102,697,438	104,340,174
一般会計の中で教育費の占める割合 (A/B)	8.4%	8.7%	8.6%

他部局での執行分を含む。

児童・生徒1人当たり教育費 いずれも建設関係費を除く。(単位：円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
小学校	100,053	98,728	107,784
中学校	101,565	100,294	117,623

学校施設整備状況 (主要建設事業)

(単位：千円)

年度 事業	平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	校	事業費	校	事業費	校	事業費	
小学校	校舎新增築	1	639,885	1	265,339	-	-
	危険等校舎改築	-	-	-	-	-	-
	バリアフリー化改修	1	14,674	-	-	-	-
	給食室改修	2	57,903	-	-	3	102,021
中学校	校舎新增築	-	-	-	-	1	301,572
	バリアフリー化改修	1	18,810	-	-	-	-

学校備品の整備状況

(単位：千円)

校種	区分(備品)	平成23年度		平成24年度		平成25年度	
		一般	新築・改造	一般	新築・改造	一般	新築・改造
小学校	理科教育等教材・管理	14,867		20,851		14,251	
	保健	1,649		3,064		6,418	
	給食	19,903	2,902	4,846		11,563	10,679
中学校	理科教育等教材・管理	68,959		12,003		19,013	
	保健	805		1,584		3,548	
	給食	1,211		522		522	
共同調理場	給食	0		0		0	
合計		107,394	2,902	42,870		55,315	10,679

・学校教育

第2次四日市市学校教育ビジョン【平成23～27年度】

基本理念 「生きる力」「共に生きる力」をはぐくむ

めざす子どもの姿 「輝く よっかいちの子ども」

問題解決能力

将来、社会人として生きるために必要な問題解決能力を身につけた子ども

豊かな人間性

自らを律しつつ、他者とともに協調し、人を思いやる心や感動する心など、豊かな人間性を備えた子ども

健康・体力

自他の健康・安全について実践していく力やたくましく生きるための体力を備えた子ども

豊かな人間関係をはぐくむためのコミュニケーション能力

他者の意見を聴き、自分の思いを伝える力を身につけ、互いに尊重し、共に向上する人間関係を築くための資質を備えた子ども

めざす子どもの姿を実現していくための3つの視点

1 段差のない教育

2 途切れのない支援

3 家庭・地域との協働

平成23・24・25年度学校教育指導方針

(指導の力点)

生きる力・共に生きる力の育成
教職員の資質・能力の向上

家庭・地域の教育との連携
学びの一体化の推進

(具体方針)

幼稚園教育

生きる力・共に生きる力の基礎の育成

確かな学力の育成

基礎的・基本的な知識・技能の定着 思考力・判断力・表現力等の育成 学び合いの重視
指導と評価の一体化の充実 外国語活動・英語教育の推進 ICTを活用した授業の充実

豊かな人間性の育成

道徳教育・生徒指導・人権教育・体験活動の充実 読書活動の推進

健康な心と体の育成

体力向上を図る取組・安全教育の充実 健康を管理・改善する資質・能力の育成 食育の推進

社会の変化に対応し、主体的に生きる力の育成

キャリア教育・多文化共生教育の推進 環境教育・福祉教育・男女共同参画をめざす教育の充実

特別支援教育

自立し社会参加するための力を育成

教職員の資質・能力の向上

確かな教師力を高める効果的な研修の実施

家庭・地域との協働

対話を大切にした、共に進める子育ての推進

特別支援教育

1. 特別支援学級の設置状況 (H25.4.1 現在)

学級の種類	小 学 校		中 学 校	
	校 数	学級数	校 数	学級数
知的障害	37	42	17	19
自閉症・情緒障害	31	36	16	16
肢体不自由	7	7	4	4
難 聴	1	1	1	1
通級指導教室 (言語)	3	6	0	0
通級指導教室 (情緒等)	3	4	0	0

保健・給食

学校給食は、成長期にある児童生徒にバランスのとれた栄養豊かな食事を提供することにより、健康の増進と体位の向上を図り、正しい食事のあり方や望ましい食事習慣を身につけさせ、生涯を通じて健康で活力のある生活を送るための基礎を培うことを目指している。

- ・主食は、地場産の特別栽培米の米飯給食を週3回実施している。パンは県内産小麦粉を30%混入して地元業者で焼いたパン給食を週2回実施している。

- ・副食は「みえ地物一番給食の日」を中心に、旬のもので可能な限り地場産物を使用し、日本の伝統料理や郷土料理を取り入れている。

- ・中学校22校では市教育委員会が栄養バランスのとれた献立作成や食材の選定に十分に関わって、民間給食業者によるデリバリー方式の給食を実施している。

2. 特別支援学級在籍児童生徒数 (H25.5.1 現在)

区分	知的障害	自閉症・情緒障害	肢体不自由	難聴	計
小学校	183	147	9	3	342
中学校	62	51	7	1	121
計	245	198	16	4	463

1. 学校給食実施状況

(平成25年度)

区 分		小 学 校	中 学 校 (デリバリー方式)
実 施	校 数	39校	22校
対 象	人 員	17,299人	8,822人
調 理	員 数	240人	-
1食当たり額	パ ン	51円31銭	-
	米 飯	62円52銭	-
	牛 乳	48円10銭	-
	パン副食	145円03銭	-
	米飯副食	133円82銭	-
1食当たり経費		244円44銭	300円
年間実施予定回数		189回	177回
徴 収 額 (1ヶ月)	高 学 年	4,300円	(一食)
	低 学 年	4,100円	300円

調理員内訳 正職員41人 再任用職員0人 パート職員88人 民間委託111人

2. 栄養摂取量（小学校）（平成25年度）

エネルギー		633kcal
たん白質		24.9g
脂 肪		20.1g
カルシウム		341mg
ビタミン	A	203 μgRE
	B ₁	0.34mg
	B ₂	0.51mg
	C	27mg

3. 学校災害件数及び医療費給付額（金額単位：千円）

区分	平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
小学校	1,098	9,359	1,023	8,131	998	9,395
中学校	1,275	14,618	1,284	17,720	1,274	17,176
合計	2,373	23,977	2,307	25,851	2,272	26,571

4. 保健担当者一覧（平成25年5月1日現在）

職 名	配 置 状 況	人員数
学 校 医	1校1人、児童・生徒数660人以上の学校は2人配置	54人
学校歯科医		68人
学校薬剤師	本務小学校21人、中学校11人	36人
保 健 主 事	各小・中学校1人	62人
養 護 教 諭	＂（海蔵小・日永小・常磐小・川島小各2人）	66人

5. 学年別体位と平均値（平成25年度）

区 分		男 子						女 子					
		身長 (cm)		体重 (kg)		座高 (cm)		身長 (cm)		体重 (kg)		座高 (cm)	
		全 国	四日市	全 国	四日市	全 国	四日市	全 国	四日市	全 国	四日市	全 国	四日市
小	6	116.6	116.2	21.3	21.2	64.8	64.7	115.6	115.2	20.9	20.7	64.4	64.3
	7	122.4	121.8	23.9	23.6	67.6	67.2	121.6	121.3	23.5	23.3	67.3	67.1
	8	128.2	128.1	27.1	27.1	70.2	70.2	127.3	127.0	26.4	26.1	69.9	69.7
	9	133.6	133.3	30.4	30.2	72.6	70.8	133.6	133.2	30.0	29.6	72.8	72.6
	10	139.0	138.7	34.3	34.1	75.0	73.0	140.1	140.0	34.0	33.8	75.8	75.5
	11	145.0	144.4	38.3	37.6	77.6	77.0	146.8	146.6	39.0	38.8	79.3	78.9
中	12	152.3	152.0	43.9	43.5	81.2	81.1	151.8	151.5	43.7	43.1	82.1	82.2
	13	159.5	158.9	48.8	48.2	84.8	84.6	154.8	154.5	47.1	46.3	83.8	83.9
	14	165.0	164.6	54.0	53.2	88.1	87.7	156.5	156.4	49.9	49.6	84.9	85.0

奨学金事業

1. 貸与内容

(平成25年度)

名 称	四日市市奨学会
対象者	経済的理由により就学困難な四日市市民又はその子
【貸与額】大学、短大、専修学校(専門課程)	23,000円/月 入学支度金 35,000円
【貸与額】高校、高専、専修学校(高等課程)等	12,000円/月 入学支度金 30,000円

2. 貸与状況

(新規貸与者数)

年度	高校生 (専修学校)	大学生 (専修学校)	合計
平成19	8	29(6)	37(6)
20	9	31(6)	40(6)
21	13	18(2)	31(2)
22	20	32(9)	52(9)
23	10	30(4)	40(4)
24	17	20(2)	37(2)
25	21	16(4)	37(4)

()は専修学校で内数

3. 奨学金の返還

返還開始日	返還月数	返還方法	返 還 日
卒業1年後	10年を限度	年賦	毎年1月末日まで

私学助成

(平成25年度)

区 分	運営費補助(設置者補助)	教員研修費補助
小・中学校、高等学校等	市内在住児童1人年額 市内に設置されている学校の場合 3,800円 市外に設置されている学校の場合 3,000円	

就学援助

経済的な理由によって公立の小学校及び中学校に就学することが困難な児童・生徒の保護者に対し、就学に必要な経費の援助を行う。

平成25年度実績

(単位:円)

区 分	金 額
小 学 校	112,348,508
中 学 校	77,263,087
計	189,611,595

市立小・中学校一覧

1.小学校

(平成25年5月1日現在)

校名	所在地	創立年月日	教職員数	児童数	学級数		保有教室数	
					普通	特支	普通	特別
中部西	北町 2-23	明 5.3.15	人 27	人 362	普通 13	特支 3	16	6
浜田	北浜田町 13-6	明 8.9.20	28	520	18	2	20	7
橋北	川原町 25-22	平 25.4.1	15	214	8	1	13	6
海蔵	大字東阿倉川 578-1	明 8.7.1	43	837	27	2	27	6
塩浜	塩浜町 1	明 8.11.2	14	172	7	1	16	6
三浜	海山道町一丁目 1532-1	昭 31.4.1	12	62	6	1	9	7
富田	富田一丁目 24-49	明 20.7.1	37	719	23	4	28	7
富洲原	富洲原町 31-14	明 9.9.30	25	498	15	2	20	8
羽津	大宮町 16-35	明 7.5.10	26	513	18	2	24	7
常磐	城西町 9-14	明 8.12.5	43	812	26	3	33	8
日永	日永四丁目 5-13	明 8.11.10	35	674	20	2	23	6
四郷	西日野 3207-1	明 9.2.4	23	414	13	3	19	6
内部	采女町 888-1	明 7.2.3	29	555	19	1	28	7
小山田	山田町 1373-1	明 8.12.1	15	188	7	2	13	6
河原田	河原田町 70	明 8.11.9	15	227	8	1	11	6
川島	川島町 2046	明 8.11.28	40	835	25	3	31	6
神前	曾井町 493-1	明 8.2.4	19	260	10	2	12	6
桜	桜町 1257	明 8.7.1	28	444	13	2	25	7
梶	赤水町 1002	明 7.5.4	23	390	14	2	26	6
三重	東坂部町 222-2	明 8.11.1	23	442	14	2	18	6
大矢知興讓	大矢知町 1212	明 7.3.16	42	789	25	4	29	7
八郷	平津町 99-1	明 25.6.1	26	469	15	2	19	7
下野	朝明町 475-1	明 9.3.1	23	403	14	1	22	7
保々	西村町 2741	明 7.4.25	26	471	15	1	18	6
水沢	水沢町 2491	明 8.12.4	14	197	6	1	10	6
高花平	高花平二丁目 1	昭 38.5.7	18	261	11	2	14	6
泊山	大字日永 5530-19	昭 46.4.1	32	550	18	4	23	6
笹川東	笹川六丁目 25	昭 48.4.1	22	239	9	3	22	6
常磐西	大字松本 764	昭 48.4.1	41	788	25	3	29	6
笹川西	笹川五丁目 62	昭 50.4.1	21	249	10	3	26	6
三重西	三重三丁目 129	昭 50.4.1	24	413	13	3	27	7
大谷台	大谷台一丁目 204	昭 50.4.1	29	562	18	2	22	6
桜台	桜台一丁目 32	昭 52.4.1	20	314	11	3	17	7
三重北	山之一色町 90	昭 53.4.1	23	307	12	2	16	7
八郷西	萱生町 1086	昭 53.4.1	15	213	8	1	11	6
羽津北	大字羽津 500	昭 57.4.1	27	516	18	2	22	6

内部東	采女町 423-4	昭 59.4.1	29	582	18	2	22	6
中央	元新町 2-36	平 7.4.1	15	185	7	1	14	8
楠	楠町北五味塚 2060-9	明 8.11.20	35	653	22	4	29	8
合 計〔39校〕			1002	17299	579	85	804	254

2. 中学校

(平成25年5月1日現在)

校 名	所 在 地	創立年月日	教職員数	生徒数	学級数		保有教室数	
					普通	特支	普通	特別
中部	西浦二丁目 5-36	昭 22.4.15	人 33	人 353	普通 11	特支 3	16	8
橋北	高浜町 1-4	昭 22.4.15	14	115	5	1	7	8
港	十七軒町 10-41	昭 22.4.15	20	246	8	1	11	8
塩浜	大字塩浜 4096	昭 22.4.15	21	138	6	3	12	10
山手	大字東阿倉川 70	昭 22.4.15	43	677	19	3	22	9
富田	東茂福町 4-19	昭 22.4.15	24	295	10	2	16	8
富洲原	天ヶ須賀五丁目 3-10	昭 22.4.15	23	334	12	2	17	8
笹川	西日野町 268-2	昭 22.4.15	31	420	13	3	17	9
南	前田町 18-17	昭 22.4.15	44	623	19	2	24	11
三滝	高角町 2068-2	昭 22.4.1	30	465	15	2	16	9
大池	下海老町 2662-1	昭 22.4.1	34	585	18	2	21	10
朝明	平津町 409-2	昭 22.4.1	47	730	21	2	23	9
保々	西村町 2787-2	昭 22.4.15	21	242	8	1	10	8
常磐	大字松本 810	昭 48.4.1	38	588	18	1	20	11
西陵	西山町 7229	昭 51.4.1	17	227	7	1	11	8
西笹川	笹川四丁目 104	昭 51.4.1	23	249	9	2	20	10
三重平	三重八丁目 1	昭 52.4.1	23	311	10	1	15	8
羽津	大字羽津甲 26	昭 54.4.1	32	496	15	2	17	8
西朝明	北山町 1169	昭 54.4.1	24	341	10	1	15	8
桜	桜町 1064	昭 57.4.1	29	436	14	2	20	10
内部	波木町 697	昭 60.4.1	37	631	17	2	18	9
楠	楠町北五味塚 2092	昭 22.4.15	24	320	10	1	14	10
合 計〔22校〕			632	8822	247	40	362	197

「普通」は加配学級・独自学級を含めた実学級数

「特支」は特別支援学級数を示した外数

「教職員数」は市費・県費常勤の職員から代替教員を除いた数

私立小・中学校一覧（市内）

1.私立小・中学校

（平成25年5月1日現在）

学 校 名	所 在 地	創 立 年	教 員 数	児 童 ・ 生 徒	学 級 数
暁 小 学 校	蒔田三丁目3-37	昭23	32人	428人	18
暁 中 学 校	萱生町238	昭23	37	447	16
海 星 中 学 校	追分一丁目9-34	昭31	40	154	7
メリノール女子学院中学校	平尾町2800	昭39	32	89	3
合 計〔4校〕			141	1,118	44

教員数には兼務者を含む

・社会教育・文化財

社会教育

<平成25年度主要事業>

(1) 社会教育関係団体の支援

四日市市PTA連絡協議会が設立目的にあった活動ができるよう支援した。

(2) 学校施設(教室)開放の推進

地域住民の学習活動、地域活動を推進するため、39小学校3中学校で学校施設(教室)開放を行った。

(3) 子どもの読書活動推進

「四日市市子どもの読書活動推進計画」に基づいて、計画推進及び計画の改訂作業のため、学校・学識経験者等による推進会議や、関係各課による市内推進会議等を開催した。

文化財

四日市市で生まれ、培われてきた文化財は、地域への愛着や郷土意識を生み出す重要な文化資源であり、それらの保護・活用は、市民が自己を高め、生きがいをもって暮らせるまちづくりの一助となるものである。

そこで、これらの文化財を保護するとともに、その活用を図り、文化財に対する市民の関心と理解を深めることに努めた。

<平成25年度主要事業>

1 文化財の指定

- ・立阪神社獅子舞(県選択保存 無形民俗文化財 平成25年12月27日選択)

2 文化財の調査・整備・維持管理

・指定文化財の整備

市指定無形民俗文化財「御館獅子舞」で使用される衣装の復元新調、市指定無形民俗文化財「南楠鯨船行事」の太鼓の修理、市指定有形文化財(建造物)「顕正寺山門」の復元修理に関わる修理指導と補助

・文化財説明板の整備

新設

- ・県指定有形文化財(彫刻) 如意輪観音坐像(観音寺)

取替え・補修

- ・国指定天然記念物 御池沼沢植物群落(東部指定地・西部指定地)
- ・県指定無形民俗文化財 東日野・西日野の大念仏
- ・市指定無形民俗文化財 市場町獅子舞

・久留倍遺跡保存活用事業

久留倍官衙遺跡整備検討委員会の開催、復元建物の基本設計、エントランス地区・史跡地の基盤整備、草刈等の維持管理

・天然記念物保存事業

御池沼沢植物群落の環境整備(樹木伐木、水路とポンプの改修)

- ・旧四郷出張所維持管理事業
建物管理、敷地草刈、法面改良工事測量
- ・文化財指定地等の除草・清掃
御池沼沢植物群落・東阿倉川イヌナシ自生地・西阿倉川アイナシ自生地・桜町シデコブシ自生地・広古墳A群・大膳寺跡・旧四日市市役所四郷出張所（四郷村役場）・天武天皇迹太川御遥拝所跡・茂福城跡・冠山茶の木原・保々の中世旧跡・永井遺跡公園・貝野遺跡公園
- ・文化財パトロール
埋蔵文化財や天然記念物等の現状及び環境保全の状況把握を行う調査(埋蔵文化財担当調査員4人・天然記念物担当調査員1人)

3 文化財保護の普及・啓発

- ・第60回文化財防火デー（文化財収蔵施設の予防査察と消防訓練 1/17～26）
- ・久留倍官衙遺跡出土品展（あさけプラザ 10/1～12/27）
- ・「館蔵品展」米田遺跡出土遺物展示（四日市市立博物館 H26/2/22～4/6）
- ・菖蒲谷遺跡から出土した遺物の展示（市役所ロビー）
- ・御池沼沢植物群落のパネル展示（市役所ロビー）
- ・『江田川遺跡』発掘調査現地説明会（10/12）
- ・『久留倍官衙遺跡政庁東門（八脚門）』発掘調査現地説明会（11/10）
- ・『北山A遺跡』発掘調査報告会（11/23）
- ・出前講座
- ・文化財整理作業所・久留倍官衙遺跡の見学

4 埋蔵文化財の発掘調査等

開発計画地内に所在する遺跡で、現状保存が困難なものについて発掘調査を実施し、その記録保存に努めるとともに、文化財整理作業所において出土遺物の整理・復元作業や報告書作成、保管等を行っている。

- ・発掘調査...江田川遺跡（一般国道1号北勢バイパス建設関連）、貝野遺跡（宅地造成）、北山A遺跡（個人住宅）、久留倍官衙遺跡（公園整備）
- ・試掘調査...井詰遺跡、大矢知山畑遺跡・久留倍遺跡、小古曾城跡等18遺跡
- ・工事立会...赤堀城跡、上里遺跡、斑鳩B遺跡等50遺跡
- ・報告書作成...『貝野遺跡4』、『一般国道1号北勢バイパス埋蔵文化財発掘調査概報』

・博 物 館

博物館は、重要な文化遺産の保存と活用を図り、郷土の歴史や風土と生活環境に関する市民の知識と理解を深め、今後の市民文化の創造に寄与する生涯学習の場のひとつとして平成5年11月1日に開館した。内径18.5mの傾斜型ドームのプラネタリウムを併設しており、市民を宇宙の神秘へ誘うとともに、天文知識の普及と啓発にも努めている。

施設概要

所在地	四日市市安島一丁目3番16号		
敷地面積	1,845.84㎡		
建築面積	1,590.40㎡		
延床面積	10,147.11㎡		
構 造	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下2階地上6階建		
	6階	373.48㎡	プラネタリウム
	5階	1,340.81㎡	プラネタリウム、天文展示コーナー、天文学習室
	4階	1,343.05㎡	特別展示室
	3階	1,251.01㎡	常設展示室、サルビアギャラリー、丹羽文雄記念室
	2階	1,321.33㎡	常設展示室、市民ギャラリー
	1階	1,466.32㎡	エントランスホール、講座室、ショップ、情報コーナー
	地下1階	1,536.71㎡	収蔵庫、スタジオ、資料整理室、くん蒸室
	地下2階	1,514.40㎡	収蔵庫、設備機械室、電気室、監視室

入館者の状況

年度	開館日	常設展	特別展等	プラネタリウム	合 計	備 考
21年度	300日	22,399人	24,956人	38,538人	85,893人	特別展4回・企画展1回
22年度	299日	24,479人	27,903人	45,406人	97,788人	特別展3回・企画展2回
23年度	300日	23,859人	22,152人	45,215人	91,226人	特別展2回・企画展2回
24年度	300日	24,522人	32,723人	45,293人	102,538人	特別展3回・企画展2回
25年度	298日	24,579人	20,641人	40,876人	86,096人	特別展3回・企画展1回

博物館事業

1 常設展

基本テーマ「伊勢湾(うみ)と鈴鹿山脈(やま)のある四日市の文化と生活環境」をもとに、地質時代から現代に至る“四日市のあゆみ”をその時代ごとの特色を生かし、六つのテーマに分けて展示している。常設展示内のサルビアギャラリーでは、学習支援展示や収蔵品展示を随時行っている。

各テーマのスペースでは、そのテーマのメインとなる展示とその他の詳細な展示に分け、展示資料に応じて実物や複製品、情景模型のほか映像や図表などで表現している。

テーマ 1 北勢地域のおいたちと自然環境 「自然のすがた」、「大地のおいたち」、「化石は語る」など、現在までの伊勢湾や鈴鹿山脈、伊勢平野の地形と地質の成り立ち、自然環境の様子を取り上げている。

テーマ 2 原始・古代の人びとの生活 「石器を使った人びと」、「土器を使った人びと」、「米づくりと青銅器の製作」、「大和朝廷と北勢地域」、「古墳の築造と渡来人の活躍」、「律令国家への道」など、旧石器時代から平安時代までの人びとの生活の様子を取り上げている。

テーマ 3 “四日市”と“四日市庭浦”の成立 「中世の武士と商人」、「伊勢湾諸湊と四日市庭浦の成立」、「くらしと生活用具」、「いのりと信仰の世界」など、田原美作守忠秀が浜田に築城して街道を城の東に移し、定期的に市が開かれて“四日市”の名称が起こったこと、伊勢湾の水運にも“四日市庭浦”が重要な役割を果たしたことなど、鎌倉時代から安土桃山時代までの様子を取り上げている。

テーマ 4 東海道と伊勢参宮道の賑わい 「近世への胎動」、「宿場と東海道」、「四日市湊と町の展開」など、四日市が東海道五十三次の43番目の宿駅として、また、日永にあっては、伊勢参宮道との分岐点として次第に交通の要衝の地として発展してきた江戸時代の様子を取り上げている。

テーマ 5 四日市港と近代産業の発展 「みなとの整備」、「近代のくらしと社会」、「地場産業と近代産業」など、四日市港の改修と、製糸、萬古焼、製茶、製網、製油などの地場産業に焦点を当てるとともに、市制を施行し、次第に市域を拡大していく幕末・明治から昭和初期までの近代の様子を取り上げている。

テーマ 6 戦災からの復興と都市の創造 「戦中から戦後のあゆみ」、「港湾・産業都市としての再生」など、甚大な被害をもたらした四日市空襲からの復興と、産業都市として再生してきた現代の様子を市民生活と産業の二つの視点から取り上げている。

丹羽文雄記念室 四日市市名誉市民で、文化勲章受章作家の丹羽文雄の文学と人となりを展示。

2 特別展・企画展

常設展の内容をさらに深めることを基本として、全国的あるいは世界的な広がりを持つ資料の展示等を中心に様々な分野でのテーマを取り上げ、特別展・企画展を年数回開催する。また、その期間中テーマに沿った講演会・講座を適宜実施する。

<特別展等 平成25年度開催>

開館 20 周年記念特別展 四日市鳥瞰図 しんきろう 本城直季写真展

開館 20 周年記念特別展 本池秀夫 革の世界展 ～人形・動物・現代アート～

開館 20 周年記念特別展 日本近代洋画への道～山岡コレクションを中心に～

開館 20 周年記念企画展 昭和の暮らし展

第 55 回北勢地区高等学校美術展（共催）

<学習支援展示 平成25年度開催>

大昔の四日市 - 弥生時代と古墳時代 -

四日市空襲と戦時下の暮らし

昭和の暮らし展（開館 20 周年記念企画展として開催）

<特別陳列 平成25年度開催>

開館20周年記念館蔵品展

（1期 洋画、2期 萬古焼、3期 日本のミニマルデザイン、4期 歴史）

3 教育普及事業

博物館事業に親しみ市民の生涯学習を支援するため、各種講演会・講座・教室を開催する。また、博物館専門職員である学芸員の資格取得に必要な博物館学課程履修のため、各大学から要請のあった学生を受け入れ、博物館業務を実習させる。さらに、特別展・企画展の展示解説などの案内を行う博物館ボランティア、学校団体からの見学と博物館教室の子どもたちの活動をサポートする学習支援ボランティア及び館蔵資料の解読を行う古文書ボランティアの充実を図っている。なお、平成24年度から丹羽文雄記念室語り部の活動も加わった。

4 資料の収集保存事業

博物館の最も基本的な機能であり、地域の博物館として四日市市に関連のある資料の購入・収集の充実を図り、その保存に努める。なお、収集資料の専門事項について、審議または指導・助言をいただくため「資料委員会」を設置している。

5 調査研究事業

博物館専門職員としての資質を高め、専門分野の学術的探求、また、内容豊かな特別展等の開催に資するため、各種情報の収集に努めつつ調査研究活動を行う。なかでも、市内所在の資料・コレクション等の調査、魅力あるワークショップの調査、次年度以降の特別展・企画展調査に重点をおいている。

プラネタリウム事業

プラネタリウムでは、様々な投射機器を駆使して、観覧者をはるか星空の世界へと誘う。また、移動天文車による観望会などを市内各地で行い、身近な所から宇宙を観望してもらう。

1 プラネタリウム投射事業

四季の星空と宇宙のテーマを合わせた季節番組（テーマ番組、キャラクター番組、星空番組）や特別番組（生演奏コンサート、CDコンサート、宇宙塾）により、星座や宇宙・天文の世界を提供している。また、保育園、幼稚園、小学校の年齢・学年等に応じた学習投射も行っている。なお、どなたにもプラネタリウム投射を楽しんでいただくため、解説に字幕をつけた投射や赤外線補聴装置の貸出しを行っている。平成25年度は、四日市市が平成24年度に宇宙航空研究開発機構（JAXA）と連携協定を結んだことを受け、JAXAと連携して宇宙塾を実施した。さらに、博物館開館20周年記念番組の投射やJAXA若田宇宙飛行士との交信イベントを実施した。

平成 25 年度季節番組

テーマ番組

- ・南十字星をたずねて
- ・プラネタリウム 宇宙兄弟 一点のひかり
- ・星うさぎと月のふね
- ・はじめての天文学 教えて！アインシュタイン先生
（学習番組も兼ねる）
- ・ワイルデスト・ウェザー ～太陽系 驚異の気象～

キャラクター番組

- ・クレヨンしんちゃん かすかべ防衛隊 宇宙クイズで勝負だゾ！

- ・ワンピース プラネタリウム
- ・名探偵コナン 星影の魔術師

星空番組

- ・星空キャスターにおまかせ
開館 20 周年記念番組
- ・光が彩るよっかいち こにゅうどうくんと行くナイトツアー！

2 天文教育普及活動事業

天文教育研修、子ども科学教室、公開観望会など幅広く天文教育普及活動を行う。また、三泗地区内にある中学校や小学校と連携した出前授業（移動式プラネタリウム・立体映像システムを活用）も行っている。さらに、中学校との連携事業の事前学習として、夏休み期間のプラネタリウム学習番組及びテーマ番組を観覧できるよう、学習参加券を配付している。

3 天文展示コーナー

テーマ展示を「宇宙観5000年の歴史」とし、古代から現代にいたる宇宙観の歴史をわかりやすくパネルで展示している。また、天体写真や実物の隕石を展示し、宇宙の神秘にふれるコーナーを設けている。さらに宇宙について学ぶことができるように、天文関連のDVD 上映や書籍の閲覧コーナーを設けているほか、季節の星座やプラネタリウム番組に合わせた展示も行っている。平成 25 年度は、「宇宙兄弟複製原画」の展示や、「イプシロンロケット」、「宇宙から見た四日市」のパネル展示を行った。

4 移動天文車「きらら号」

口径20cmの高性能天体望遠鏡と直径2mの観測ドームを備えた全国でも数台しかない「動く天文台」として、市内各地に出向き、観望会を実施している。観望会には天文ボランティア（登録39人）が参加協力する。また、天文現象（見頃の惑星など）をとらえた博物館主催の観望会も実施し、神秘的な宇宙の姿を紹介している。

博物館協議会

博物館法第20条に基づき、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関として設置している。平成25年度は定例会を2回開催した。〔委員数14人〕

四日市市楠歴史民俗資料館

この資料館の主要施設である旧庄屋岡田邸は、代々庄屋であった岡田家の邸宅であり、いくつかの古文書や神社棟札、文政 12 年（1829 年）の岡田家の古文書に庄屋の記載がみられ、この頃に庄屋職を桑名藩より拝命したと推定されている。また、建物については、敷地内に祭っていた弁財天の社の中に、宝暦 10 年（1760 年）の記載があることから建築年代は 18 世紀半ば、少なくとも江戸時代中期に、現在の主屋と土蔵が建築され、建築様式から推定すると 250 年ほど経過していると考えられている。北勢地域においても、歴史的価値が高い建造物であることから、四日市市有形文化財（建造物）に指定されている。平成 17 年 4 月に米蔵の跡地に展示棟を併設し、資料館として開館し、平成 21 年度から指定管理者制度を導入し、財団法人四日市市まちづくり振興事業団（現在は公益財団法人四日市市文化まちづくり財団）が指定管理者となって管理運営を行ったが、平成 24 年度から博物館が管理運営を行っている。

施設概要

所在地 四日市市楠町本郷 1068 番地

敷地面積 1,229.23 m² (資料館 932.23 m²、駐車場 297 m²)

建築面積 338.09 m² 延床面積 448.24 m²

構 造	主屋・立会所	木造瓦葺平屋	209.75 m ² (四日市市指定有形文化財)
	蔵	木造瓦葺平屋	39.08 m ² (四日市市指定有形文化財)
	水屋	木造瓦葺平屋	2.76 m ²
	展示棟	木造瓦葺 2 階建	196.65 m ²

施設

旧庄屋岡田邸：主屋・立会所・蔵・水屋

展示棟：常設展示室・映像コーナー・企画展示コーナー・事務室・収蔵庫

来館者数

平成 21 年度：7,634 人 平成 22 年度：6,829 人 平成 23 年度：7,321 人 平成 24 年度：8,258 人
平成 25 年度：8,927 人

事業概要

夜間特別開館（夏・秋）、小中学生写生大会、自由研究作品展、

学芸員講座（親子で聞こう地獄極楽の話、屋気楼物語）、企画展示（市内文化サークル作品展）、

ミニ門松づくり、ひなまつりコンサート、吊るし飾り展、語り部事業 など

・ 図 書 館

施設概要

・所在地	四日市市久保田一丁目2番42号
・敷地	4,738.01㎡
・構造	鉄筋コンクリート造 地上3階・地下1階
・開館	昭和48年7月10日
・建物面積	延4,147.42㎡

(平成26年3月末現在)

1階	一般成人室	新聞雑誌コーナー20席・参考図書コーナー10席 ・軽読書コーナー他28席
	児童室	82席
	点字・録音資料室	
2階	一般閲覧コーナー	44席
	地域資料室	12席
	郷土作家コーナー	4席
	インターネットコーナー	3席
	展示コーナー	9席
	視聴覚ホール	100席
3階	学習室	154席
	一般研究室	42席
	スナックコーナー	53席 (図書館不用図書リサイクルコーナー・飲食コーナー含む)
	会議室	24席
	研修室	12席

業務内容

開館時間	火・水・木・金曜日は午前9時30分～午後7時 土・日曜日及び祝日は午前9時30分～午後5時
休館日	毎週月曜日、毎月第2と第4火曜日、特別整理期間(6月中の約10日間)、年末年始
館外貸出	本市及び三重郡三町の在住、在勤、在学者と桑名市、いなべ市、東員町の在住者を対象として1人10冊以内、15日以内で貸し出しする。
自動車文庫	市内に92ヵ所の駐車場を設け、2台の自動車文庫で月1回(8月を除く)巡回し、1人10冊以内で、翌巡回日まで貸し出しする。
資料複写	著作権法の範囲内であれば、申し込みに応じて複写(複写料 白黒1枚10円・カラー1枚50円)。ただし、図書館資料(一部を除く)に限る。
資料相談	電話、文書、来館のいずれも可

平成25年度事業報告

市民の多様な知的欲求に応じて、その満足度の向上に資するため、資料の収集整備とサービスの質的向上に努めた。また、老朽化する施設を適切に維持管理しながら、四日市市にふさわしい「市民の図書館」づくりに努めた。

市民の多様な学習要望に応えられるよう、適切な蔵書の整備を図り、23,033冊の図書を受け入れた。

人権・同和関係資料の収集・提供に努めた。

点字・録音図書の充実を図るとともに、点訳及び録音基礎講座を開催し、図書館サービスの啓発に努めた。また、活字での読書が困難な方に対しては、対面朗読ができる環境を整え、小さな文字が見えにくい方に対しては、拡大読書器や大活字本を整備している。

ボランティアや職員による読み聞かせや、各種講座を充実させることにより、図書館利用者の拡大を図った。また、テーマに沿って資料を展示する企画展示や、博物館など公共施設の事業と連携した関連図書の紹介をするなど、蔵書の広報に努め、市民が読書に親しめるよう工夫した。

なのはな文庫（学校貸出専用図書）の貸し出し、調べ学習への対応、学校図書館いきいき推進検討委員会への参加など、学校図書館と連携を図った。また、指導課から担当1名が派遣され、なのはな文庫の管理運営や幼稚園への大型絵本の配送などに従事した。

利用者にとって快適な読書環境を整備するため、館内の改修工事を行った。一般成人室の閲覧スペース拡大、児童室の書架入れ替え及び図書の配列見直しのほか、郷土作家コーナー・インターネットコーナーを新しく開設し、展示コーナーを移設・拡充した。

月別事業実施表

月	事業名
4	「子ども読書の日」絵本の読み聞かせ、お話し会(21・22日)
5	四日市こどもまつり(四日市ドーム) 自動車文庫参加(19日)
6	特別整理期間(3日～13日)
7	夏休み絵本の読み聞かせ(20日) / 夏休みおはなしびっくりBox(24日) 手づくり絵本講座(25・26日、8月1日)
8	子ども点字教室(2日) / ぎんのかい夏休みおはなし会(11日) / 夏休みおはなし会(21日) / 夕すずみおはなし会(23日)
9	「読書に関するエッセー」作品募集(1日～10月31日)
10	館内改修工事(臨時休館;13日～31日) / 出前講座(22日)
11	手づくり絵本講座作品展(1日～17日) / 点訳基礎講座・音訳基礎講座(9・16・23日) 秋の絵本の読み聞かせ(16日) / 出前講座(22日) / 読み聞かせ入門(30日)
12	「読書に関するエッセー」表彰式(15日) / 冬休みおはなし会(26日) クリスマスおはなしびっくりBox(25日) / 出前講座(20日)
1	ぎんのかい冬のおはなし会(12日)
2	冬の絵本ライブラリー拡大版(8日)
3	春休みおはなし会(19日)

過去3年間の利用状況

		23年度	24年度	25年度
開館日数		277	274	(4)259
入館者数	年間総数	290,507	286,016	265,668
	1日平均	1,049	1,044	1,026
登録者数	総登録者数	61,704	60,669	59,364
	個人登録者(1)	61,201	60,136	58,841
	(うち15歳以下)	(11,794)	(11,527)	(11,124)
	点字・録音(個人/団体)	62/137	67/152	58/161
	団体登録者	304	314	304
	個人登録率(%) (2)	19.5	19.2	18.9
貸出冊数	貸出冊総数	930,639	906,527	855,144
	本館(3)	865,294	842,660	791,588
	(うち雑誌)	(26,541)	(27,380)	(24,763)
	自動車文庫	64,216	62,906	62,917
	(うち雑誌)	(1,075)	(955)	(1,042)
	点字録音資料室	1,129	961	639
	録音	1,058	901	601
	点字	71	60	38
	市民1人当り貸出数	3.0	2.9	2.7
	日曜日の1日平均貸出数	3,847	3,744	3,703
	1日の最多貸出数	5,305	5,124	5,884
調査相談 件数	総数	3,818	4,481	5,431
	口頭	3,733	4,417	5,358
	電話	80	60	71
	文書・メール	5	4	2
予約 リクエスト	総数	45,045	47,019	44,192
	本館(窓口)	18,773	19,487	17,303
	本館(インターネット)	20,008	21,127	20,552
	自動車文庫	6,264	6,405	6,337
複写	件数	3,630	3,689	3,432
	枚数	23,424	23,033	20,894
人口(各年度の3月31日現在)		313,683	312,856	312,359

1 個人登録者は、5年以上未利用者数を除く

2 個人登録率 = (個人登録者 + 点字・録音個人) ÷ 人口

3 本館は、個人・団体・なのはな文庫等を含む

4 改修工事による臨時休館(平成25年10月13日～10月31日)

蔵書統計（平成 26 年 3 月末現在）

図書区分	受入冊数	払出冊数	増減冊数	年度末蔵書数
本館成人	13,881	13,689	192	277,845
本館児童	3,809	1,891	1,918	82,059
本館外国語(成人・児童)	9	191	-182	3,619
本館雑誌(成人・児童)	2,442	2,040	402	21,376
点字・録音資料	80	0	80	4,022
自動車文庫	2,712	15,132	-12,420	35,408
自動車文庫雑誌	100	79	21	477
総計	23,033	33,022	-9,989	424,806

資料区分	受入冊数	払出冊数	増減冊数	年度末蔵書数
その他資料	168	172	-4	9324

図書購入費（当初予算）の推移

（千円）

年度	24年度	25年度	26年度
総額	153,141	154,295	122,004
図書費	25,403	25,403	25,578
その他資料費	3,350	3,350	3,350

・市民スポーツ

<スポーツの振興>

市民の誰もが、それぞれの体力や年齢、興味、目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会を実現するため、施設の充実や各種の事業の推進を図るとともに、自立した地域スポーツを組織化するため、総合型地域スポーツクラブの充実を目指す。

各種大会(25年度)

スポーツ推進委員関係行事	四日市市民スポーツフェスタ他	5大会
レクリエーション協会関係行事	レクリエーション大会他	8大会
少年スポーツ団関係行事	スポーツ少年団大会他	8大会
体育協会関係行事	総合駅伝大会他	13大会

各種講習会(25年度)

3講習会 346名参加

各種スポーツ教室(25年度)

47教室 3,754名参加

学校体育施設開放(25年度)

40小学校・22中学校..... 体育館・グラウンド・武道場・プール・テニスコート
(旧東橋北小学校跡地を含む)

総合型地域スポーツクラブ(25年度)

5ヶ所..... 保々、楠、三重、橋北、内部地区

<体育施設の状況>

利用状況の推移

(人)

平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
903,916	997,233	852,481	962,758	980,169

注 スポーツ以外の利用含む

指定管理者の導入状況

1) 四日市市運動施設指定管理者

指定管理者名等	施設名
契約期間：平成21年4月1日～平成26年3月31日 名称：四日市市体育協会・四日市市シルバー人材センターグループ	中央緑地公園運動施設など30施設

2) 四日市ドーム指定管理者

指定管理者名等	施設名
契約期間：平成22年4月1日～平成27年3月31日 名称：トーエネックグループ	四日市ドーム

体育施設の設置状況

(平成26年3月末日現在)

施設区分	設置ヶ所数	面数等	設備の特徴など
全天候型多目的施設	1	1	ドーム型(9,707㎡)・人工芝
体育館	3	4	トレーニング室併設(1ヶ所)、武道場併設(1ヶ所)
陸上競技場	1	1	第2種公認・全天候型トラック400m、照明設備(8ヶ所)
水泳競技場	3	7	流水プール(1ヶ所)、温水プール(1ヶ所)
野球場	5	6	照明設備(2ヶ所)
ソフトボール場	2	3	
サッカー・ラグビー場	3	4	照明設備(1ヶ所)、グリーンサンド(2ヶ所)
テニスコート	3	20	照明設備(2ヶ所)、人工芝(18面)
運動用舟艇場	1	1	30艇係留
弓道場	1	1	5人立ち
武道場	1	4	柔道・剣道場
相撲場	1	1	屋形付土俵
多目的運動広場	1	1	照明設備(1ヶ所)
グランドゴルフ場	1	1	河川敷
地区運動広場	14	-	地区による管理(ソフトボール場・テニスコートなど)

・人権教育

本市が進める人権教育は、これまでの同和教育の実践が積み上げてきた理念や成果を踏まえ、世界の人権教育に学びつつ、自分自身、家庭、職場、地域と具体的に結びついたものを取り上げ、同和問題をはじめとするさまざまな人権問題の解消を目指し、人権が普遍的に存在しうる社会の構築を図ることです。そのためには、主体的に人権教育を推進する人づくりと多様な学習の場の提供などを推し進めます。

学校人権教育（指導方針）

人権を尊重し、人権問題を解決する行動力の育成

子どもたちがさまざまな人権問題を自らの問題として自覚し、生活の中にある課題の解決を図っていくために、教職員は学校・園のあり方を人権尊重の視点で常に見直していく必要がある。さらに、この視点から教育目標や年間指導計画の策定に努め、自他の人権の尊重と擁護、人権問題の解決に向けた行動力の育成につながる人権教育を推進していくことが求められる。

「四日市市人権教育・啓発基本方針」「四日市市学校教育ビジョン」「学校教育指導方針」を踏まえ、各校園の人権教育推進計画の策定・充実に努める。

校内の人権教育を一層推進するため、教職員の研修機会の充実を図るとともに、中心となりうる教職員および子どものリーダーを育成する。

中学校区単位で授業交流、情報交換会、子ども人権フォーラム等を実施し、校園や地域関係組織との連携を一層深める。

人権センター・人権プラザと連携し、部落問題や外国人・障害者・女性・子どもなど個別の人権問題の解決に向けた四日市市全域を含むネットワークを構築することで、差別をなくし、子ども・保護者が安心できる教育環境づくりを推進する。

いじめや差別のない学校づくりに向けて、保護者・教職員を対象に一人ひとりの人権意識を高める研修を継続する。

幼児・児童・生徒の人権活動

- ・ 人権啓発ポスターの募集（対象：保育園・幼稚園児、小学生、中学生、高校生／募集締切：9月18日）
- ・ 人権作文の募集（対象：小学生、中学生／募集締切：1月16日）
- ・ 市中学校ブロック子ども人権フォーラム（対象：小学生、中学生／開催日：各ブロック随時）
- ・ 人権のひろば展（開催日：12月8日、12月9日～1月7日／展示内容：人権ポスター）

教職員資質向上・人材育成

- ・ 人権教育推進委員研修会（対象：小・中学校推進委員／5月17日）
- ・ 人権教育実践研修会（対象：幼稚園教職員／7月26日　小・中学校中堅教職員／8月6日　）
- ・ 人権教育教頭研修会（対象：小・中学校教頭／8月9日）
- ・ 人権教育初任者研修会（対象：新規採用教職員全員／8月23日）
- ・ 人権教育転入者研修会（対象：市外からの小・中転入教職員等／8月23日）
- ・ 人権教育リーダー育成研修会（対象：小・中学校対象教職員30名及び希望者／研修日3回）
- ・ 人権教育リーダーフォローアップ研修会（対象：前年度のリーダー育成研修会参加者及び人材バンク登録者／12月25日）

指導用図書及び資料の配付

- ・ 学校人権教育のてびき（第56集）
『学校における人権学習プログラム』 - 人権教育推進校の実践から -

県・市人権教育推進事業

委託事業名	学 校 名 等	期 間
市人権教育推進校園指定事業	常磐小、三重小、八郷小、保々中、三滝中、海蔵幼、泊山幼	1 年
子ども人権文化創造事業・自己実現支援事業	市内4地区	1 年
市中学校ブロック人権文化創造事業	22中学校ブロック	1 年
〔県委託事業〕 子ども支援ネットワーク構築事業	西笹川中学校区	1 年

人権・同和教育関係施設状況

施設	所在地・ 電話番号	建設 年月日	構造	敷地 面積 m ²	建物 延べ m ²	概要
人権プラザ 赤堀	赤堀三丁目 1-21 TEL351-7609	S50.11.7 増築 H15.2.24	RC造 2F	697.52	250.50	1階 事務所、料理実習室、和室 2階 ホール、図書室
赤堀児童 集会所		S52.3.31 増築 H60.3.29	RC造 2F			558.00
人権プラザ 天白	日永二丁目 5-15 TEL346-2803	S48.9.30 増築 H15.3.14	RC造 2F	864.00	253.26	1階 事務所、料理実習室、和室2 2階 ホール
天白児童 集会所		S58.3.31 増築 H3.3.31	S造 平屋			258.17
人権プラザ 小牧	市場町 1041-24 TEL339-0909	S48.3.15	RC造 2F	1,650.00	301.00	1階 事務所、相談室 2階 教養室、図書室
小牧児童 集会所		TEL339-1287	S50.3.31			S造 平屋
人権プラザ 神前	寺方町2281 TEL326-0840	S50.4.30	RC造 2F	756.58	309.18	1階 事務所、料理実習室、相談室 2階 ホール、図書室
寺方児童 集会所	寺方町2251 TEL326-5022	S52.8.31 増築 S60.3.30	S造 平屋	1,799.79	486.84	ホール、学習室、図書室、幼児室、図工室、職員室
神前 柔道教室	曾井町494-3 TEL326-4236	S52.5.25	S造 平屋	713.14	204.39	柔道場、相撲場

教育・視聴覚センター

施設の概要

施設目的	教職員研修、教育課題研究、特別支援教育、教育相談、不登校対策、教育情報環境整備、広報普及、視聴覚ライブラリーの事業を実施して、学校・園の教育の振興を図るとともに、広く市民文化の向上に寄与する。
所在地	諏訪町2番2号 四日市市総合会館6,7,8F 日永東一丁目2 28 適応指導教室(ふれあい教室)
施設	事務室 個別学習室1・2 集団学習室1・2 研究室 情報教育室 会議室 視聴覚ライブラリー 第1～3研修室 視聴覚室 適応指導教室

業務内容(平成25年度)

事業名	内容
研究	重点課題研究推進校による研究推進 課員による課題研究の推進 教育図書、研究資料の整備、提供 研究報告書、研究資料、ニュースの刊行
教職員研修	教職員研修の企画・運営 (教職員研修講座の企画・運営、教師力向上サポートブックによる自己相互研鑽の推進、若手教員・ミドルリーダー教員研修の推進等) 乳幼児教育研修の企画・運営 三泗教育研修運営委員会……研究協議会活動、教育研究大会、教育講演会
教育相談	不登校や発達・行動等に課題のある子どもと、その保護者・教職員に対する相談支援(来所相談、学校・園への巡回相談(就学相談を含む)、電話相談、他の相談機関との連携調整) 「わくわく教室」「ふれあい教室」での、不登校児童生徒に対する学校復帰・社会的自立に向けた支援 嘱託精神科医や小児科医による相談員等への指導・助言 臨床心理士等によるカウンセリングやプレイセラピー及び諸検査の実施 学生ボランティア「ふれあいフレンド」による不登校児童生徒への自立に向けた支援活動
情報教育	教育情報通信システムの環境整備と活用や運用の支援 情報教育推進のための調査・研究
視聴覚センター	視聴覚ライブラリーにおけるDVD、ビデオテープ、プロジェクターなどの貸出し